

献詠入選歌（一般の部）

一位 本当にあなたの子供でよかつたと

言いだせぬまま明日から一人

埼玉県川口市

崎本

さきもと

ミナト

みなと

二位 夕暮の底で玉葱きざみつつ

祖母はわたしを母の名で呼ぶ

石川県金沢市

渡邊

わたなべ

美愛

みえ

三位 父が逝く日にバンザイと兄が征く

幼き日のこと祖母は語れり

神奈川県相模原市

榎本

えのもと

ハナ

はな

四位 幾坂を越えてきて逢いし大平洋

ついと答えの出てきた広さ

神奈川県小田原市

川口

かわぐち

一男

かずお

献詠入選歌（小中学生の部）

一位 海の先にどんな景色があるのだろうか

考えながら瞳をとじる

岩沼市立岩沼中学校

石澤 いしざわ 美尋 みひろ

二位 地球ってすごく大きいものだけど

わたしの見ている世界も大きい

岩沼市立岩沼中学校

三浦 みうら 蒼海 あみ

三位 基地の街の空に雲引き六列の

飛行機の飛ぶ午後から雨だ

山口大学教育学部附属光中学校

横道 よこみち 玄 ひかる

四位 空を見てぼーっとしたまま動かない

何か不思議な空っぱの時間

岩沼市立岩沼中学校

三浦 みうら 快斗 かいと

献詠入選歌（高校生の部）

一位 下校道空いた右手がさびしくくて

君の左手ぐつと握った

茨城県立結城第二高等学校

たけい
武井

かいと
粥斗

二位 いつの日か君と覗いた望遠鏡

ほこりで見えぬ元の輝き

星野高等学校

あらい
新井

さな
咲那

三位 読みかけのままの「こころ」を開くとき

優先席に満ちた静謐

愛知県立時習館高等学校

やまだ
山田

ひなの

四位 君がいた水面に浮かぶ笹舟を

ぐしやりと潰し捨てた日曜

星野高等学校

はせべ
長谷部

すみか
澄香